

21世紀型学力の育成をめざして

北海道高等学校教育研究会地歴・公民部会長

(北海道札幌あすかぜ高等学校長) 湯 浅 純 人

ムーアの法則というものがあります。コンピューターやロボットに必要な半導体の集積回路の性能が、2年ごとに倍増していくことを、今から半世紀も前に主張したゴードン・ムーアの論文から名付けられた法則です。コンピューターはどんどん賢く、小さく、安価になるというものです。その後はムーアの予測以上のスピードで進化し続けて現在に至っています。最近、近い将来にAI（人工知能）やロボットが人間の仕事を奪ってしまうとの危機感を訴える識者が増えてきました。オックスフォード大学のオズボーン准教授らのグループは、今から10～20年以内に米国では人間の仕事の47%、英国では38%、そして日本でも49%、つまり人間の仕事の半分が機械に奪われると予測しています。OECDが職業に求められるスキルの推移を経年変化で示したデータがあります。1960年を50としたときに、その後どのような変化が見られるかを数値化したものです。そのデータから明らかなのは、未来社会では反復系の手作業は減り、反復系の認識を伴う仕事までもが減少していくということです。では、逆に求められるスキルはどのようなスキルなのでしょう。右肩上がりに増加していくスキルのタイプは、非反復系で分析を伴うもの、非反復系で双方向性を必要とするものであることがわかります。つまり、じっくり考えること、どれが適切かを判断し決断することなど、思考を伴うものは私たち人間に求められる能力であり、そうした能力は今後ニーズが高まります。また、他者と話し合ったり情報交換したりして、新しいアイデアを生み出し創造すること、折り合いをつけ一致点を探ることなども機械では難しいことです。そうであるならば、おのずと未来社会に生きる子ども達に必要な学力が明らかになってきます。単に知識を暗記し再生していればよいのではなく、論理的に考えたり他者にわかりやすく表現したりする実社会で活用できる能力、つまり汎用的な能力が求められるのです。これまで高等学校における教育は、どちらかというとも大学進学を頂点とした知識の量の習得と、その再生の正確性をもって学力としてきた面が強いといえます。しかし、変化の激しい21世紀の社会では、知識の習得ばかりではなく、実社会で活用できる汎用的能力の育成こそが求められています。特に現代社会が直面する「正解のない問題」については、納得解や最適解を自分たちで創っていかねばなりません。そして最適解を創る力は、実際にそれを他者とともに創る経験なしには育ちません。さらに、これまでの「たこつぼ型」の思考ではなく、横断的・総合的に思考し、化学反応を起こしていけるような裾野の広い知が必要となってきます。

私たちは、責任を持って、生徒達に21世紀型学力を育成していかなければなりません。その意味でも、北海道高等学校教育研究会の果たす役割は、年を追うごとに重要になってきています。多くの地歴・公民科の教員の皆さまに研究会にご参加いただいて、今、私たちに求められているものは何かを議論し、これからの理想的な地歴・公民科教育の実現をめざして努力していきましょう。

I 平成28年度高教研地歴・公民部会(教科別集会)のご案内

～ネットワークを作り、授業力を高めましょう！～

1 研究主題

(1) 平成28年度地歴・公民部会研究主題

「課題意識を持ち、主体的に学び考える力を育む学習指導の工夫・改善」

(2) 平成28年度専門部(分科)会研究主題

ア 世界史：生徒の主体的取組を促し、課題意識を育む授業の創造
 イ 日本史：日本史教育の今日的課題と学習指導の工夫・改善
 ウ 地理：地理教育の未来を育む授業創造と評価法の工夫・改善
 エ 現代社会：現代社会教育の今日的課題と授業・評価の工夫・改善
 オ 倫理：持続可能な社会を担う人間を育成する倫理の授業展開
 カ 政治経済：確かな学力を育てる「政治・経済」学習指導の工夫・改善

2 期 日 平成29年1月12日(木)

3 会 場 北海道札幌あすかぜ高等学校
 〒006-0860 札幌市手稲区手稲山口254番地

TEL 011-694-5033
 FAX 011-694-5074

4 内 容 (時間帯は予定)

9:00	9:30	10:20	10:30	12:30	13:30	15:30	15:50
受付	開会式 総会 各研究会紹介 (体育館)	休憩	講 演 ・各分科会ごと (使用教室は当日案内)	昼 食	研究発表・協議 ・各分科会ごと (使用教室は当日案内)		閉 会 式

5 講演・研究・司会・記録の依頼 分科会運営委員が依頼しますので、ご協力をお願いします。

6 交通機関

- (1) ジェイ・アール北海道バス「第一鳥居前・手稲駅北口・星置駅北口」から、「札幌あすかぜ高校」行きスクール便
- (2) ジェイ・アール北海道バス「手稲駅北口」から(手41)「手稲山口団地」行、「曙通」下車(徒歩15分)
- (3) ジェイ・アール北海道バス(宮44手稲駅南口・曙通経由)「地下鉄宮の沢駅」「札幌あすかぜ高校前」下車
- (4) 手稲駅からのタクシー利用 約4km 15分 1500円程度

※ あすかぜ高校の駐車場は運営者・講師以外にも若干の駐車スペースはありますが、満車の際は、校舎周辺には駐車スペースがありませんので、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

7 研究紀要54号の執筆依頼

- (1) 教科に関する事で、25,000字以内(ワープロで25文字×1,000行)です。
(詳細は会報105号に記載)
- (2) 申込みは、平成28年8月25日(木)までに事務局(あすかぜ高校)へ論文概要を送付してください。
なお、執筆のための研究調査経費を地歴・公民部会から一部補助することができます。詳しくは事務局にお問い合わせ下さい。

Ⅱ 地歴公民科 各種研究会(夏の研究会)のご案内

～互いに学び、情報を交換し、夏に教科の力をつけていきましょう！～

研究会名称	北海道高等学校地理教育研究会			
会長名	宮田 日出夫 (北海道有朋高等学校長)	事務局長	佐久間 直 樹	
事務局	北海道札幌新川高等学校	札幌市北区新川5条14丁目1-1	TEL 011-761-6111	
夏季研究会 のご案内	期 日	平成28年8月1日(月)～8月2日(火)	会 場	ホテルライフオート、千歳市
	○研究主題	「千歳空港のこれまでとこれから～北海道の空を考える～」		参加料
	○概 要	<p>北方の守り千歳空港は官民両用の空港として長く北海道の空の要となってきた。国際政治の狭間で軍事的な拠点として歴史を重ねてきたが、現在は更に世界経済の変化の中で人的・経済的な側面を持つようになった。2030年日本のインバウンドは6000万人を目指す中で、世界各国からの観光客を分散させるためにも新千歳空港は大変有望である。</p>		
	○主な内容	<p>1日目…巡検A (航空自衛隊千歳基地) 2日目…巡検B (新千歳ターミナルビル)、巡検C (札幌国際エアカーゴターミナル)</p>		

研究会名称	北海道高等学校世界史研究会			
会長名	西 嶋 潤 一 (北海道清水高等学校長)	事務局長	今 井 一 吉	
事務局	北海道苫小牧西高等学校	苫小牧市青葉町1丁目1番1号	TEL 0144-72-3003	
夏季研究会 のご案内	期 日	平成28年8月5日(金)	会 場	札幌市教育文化会館
	○研究主題	「国際理解を進め、歴史的思考力を育成するための世界史教育」		参加料
	○講 演	<p>(1)「アジアの開発とグローバル・エコノミーの展開：GISを用いて」 講 師 水 島 司 氏 (東京大学大学院人文社会系研究科教授)</p> <p>(2)「これからの世界史教育を展望する」 講 師 小 川 幸 司 氏 (長野県長野高等学校教頭)</p>		
	○研究協議			

研究会名称	北海道高等学校日本史教育研究会			
会長名	石 黒 清 裕 (北海道札幌開成高等学校長)	事務局長	幡 本 将 典	
事務局	市立札幌大通高等学校	札幌市中央区北2条西11丁目	TEL 011-251-0229	
夏季研究会 のご案内	期 日	平成28年8月3日(水)～4日(木)	会 場	札幌市教育文化会館
	○研究主題	「日本近世史研究と歴史教育」		参加料
	○講 演	<p>(1)「日本近世史研究と歴史教育－朝幕関係を中心に－」 講 師 高 埜 利 彦 氏 (学習院大学教授)</p> <p>(2)「周縁から都市と身分を考える」 講 師 吉 田 伸 之 氏 (東京大学名誉教授)</p> <p>(3)「近世社会経済史の捉え方」 講 師 牧 原 成 征 氏 (東京大学准教授)</p> <p>(3)「近世後期外交について」 講 師 谷 本 晃 久 氏 (北海道大学准教授)</p> <p>(4)40周年記念シンポジウム「日本近世史研究と歴史教育」</p>		

研究会名称	北海道高等学校「倫理」「現代社会」研究会			
会長名	元紺谷 尊 広 (北海道根室西高等学校長)	事務局長	江 尻 憲 昭	
事務局	北海道大麻高等学校	江別市大麻ひかり町2番地	TEL 011-387-1661	
夏季研究会 のご案内	期 日	平成28年8月2日(火)	会 場	札幌市資料館
	○研究主題	参加料		2,000円
<p>「自我逸失」の行方(ゆくえ)～高い満足感と低い自己肯定感～</p> <p>○午前</p> <p>(1)「道外研究報告」</p> <p>① 全公社研東京大会(東京) 久 保 真 理 氏(札幌西)</p> <p>② 日本社会科教育学会(宮城) 佐 藤 克 宣 氏(岩見沢東)</p> <p>(2)「第9回意識調査報告」</p> <p>報告者 久 保 真 理 氏(札幌西) 横 山 茂 氏(札幌啓成)</p> <p>○午後</p> <p>(1)「研究協議」</p> <p>テーマ「高校生の意識はどう変わったのか」</p> <p>コーディネーター 佐 藤 克 宣 氏(岩見沢東) 中 野 由 亘 氏(旭川西)</p> <p>(2)「講演(第9回意識調査刊行記念講演)」</p> <p>演題「自我を見失ったのは誰か」</p> <p>講師 村 田 尋 如 氏 北海道高等学校「倫理」「現代社会」研究会常任顧問 前北海道高等学校「倫理」「現代社会」研究会副会長 (前北海道教育庁教育指導監)</p>				

研究会名称	北海道高等学校政治経済研究会			
会長名	佐々木 光 晴 (北海道函館稜北高等学校長)	事務局長	志 田 光 瑞	
事務局	北海道札幌稲雲高等学校	札幌市手稲区手稲本町6条4丁目1-1	TEL 011-684-0034	
夏季研究会 のご案内	期 日	平成28年8月3日(水)	会 場	ホテルライフオート札幌
	○研究主題	参加料		2,000円
<p>「北海道の未来を担う高校生のために、今、私たちにできること」</p> <p>○講演</p> <p>演 題 「主権者教育の一層の充実に向けて」</p> <p>講 師 樋 口 雅 夫 氏</p> <p>文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官</p> <p>○研究協議</p> <p>「今、求められる政治・経済授業の在り方について」 樋 口 雅 夫 氏</p> <p>○研究発表</p> <p>「シティズンシップを育む『政治・経済』の学習指導について」</p> <p>吉 川 敦 巳 氏(北海道千歳北陽高等学校教諭)</p> <p>○実践報告</p> <p>「主権者教育の実践と課題」(仮題)</p> <p>高 橋 朝 子 氏(東京都立戸山高等学校主幹教諭)</p> <p>※総務省・文部科学省発行「私たちが拓く未来の日本」執筆者 文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会 社会・地理歴史・公民ワーキンググループ委員</p> <p>○講話</p> <p>「改正公職選挙法について」(仮題)</p> <p>北海道選挙管理委員会担当者</p> <p>○学習会報告</p>				